

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和3年2月26日（金）
- 2 確認箇所
地下水ドレンポンド（2.5m盤）
- 3 確認項目
地下水ドレンポンド設備改良工事の状況

4 確認結果の概要

地下水ドレンは、陸側遮水壁と海側遮水壁に囲まれている2.5m盤に流入する地下水を汲み上げるための設備である。汲み上げられた地下水は、サブドレン他浄化設備で浄化され、運用目標を満たしていることを確認後、港湾内へ排水されている。

前回、サブドレン他浄化設備での処理負荷を軽減させることを目的に設置された地下水ドレン前処理装置及び当該設備に関連する地下水ドレン集水設備の現況を確認したところ、地下水ドレンポンドBは、カバーが外されて揚水ポンプ等が取り出されており、設備の改良工事が行われていた。

（前回確認：令和2年12月9日）

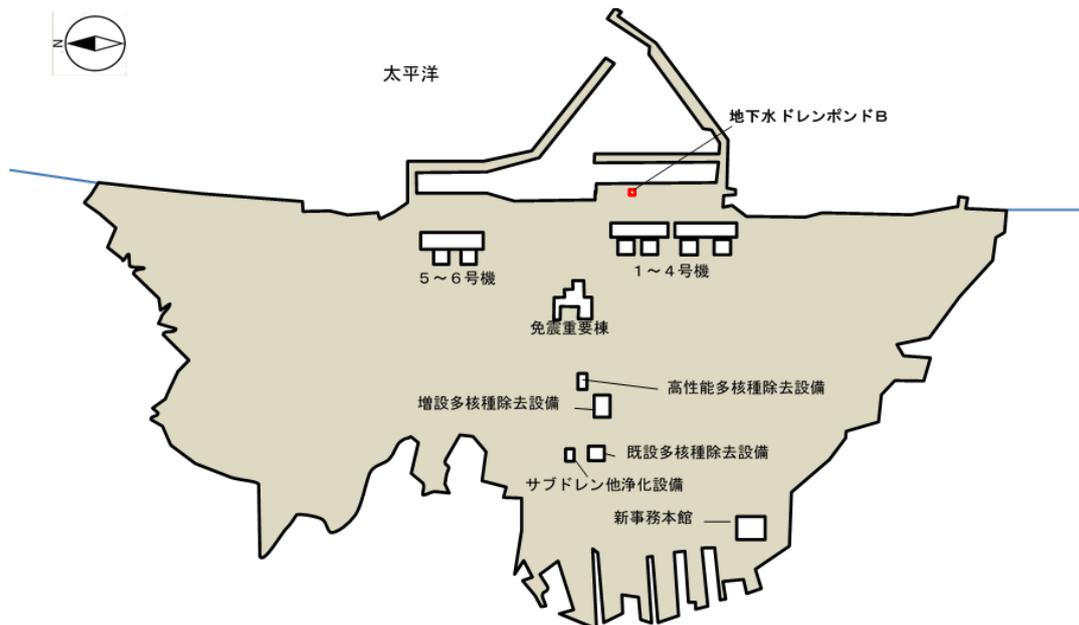
今回、その改良工事について、東京電力から聞き取りを行うと共に現場の状況を確認した。（図1）

（聞き取り結果）

- ・地下水ドレンポンドは護岸地下水汲み上げのための井戸であり、地中側面には孔が開いている。この既設孔には詰まりがあることや、周囲の地下水位が下がったことで地下水圧が低下したことにより、井戸への地下水流入量が減り、結果として汲み上げ量が減少している。
- ・護岸エリアへの地下水流入ピーク時に、確実に排水を行うため、井戸への地下水流入量を確保する必要があり、既設孔より、およそ70cm～150cm上に新たな孔を開ける改良を行っている。
- ・改良対象の地下水ドレンポンドはA～Eの5箇所あり、昨年11月から改良工事が開始され、今年3月に完了する予定である。

（現場調査結果）

- ・前回、地下水ドレンポンドBはカバーが外され、揚水ポンプ等が取り出されていたが、今回の確認時には、改良工事が完了しており、カバーが取り付けられていた。（写真1）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
地下水ドレンポンドBの状況
(前回撮影 令和2年12月8日)
(南東方向から撮影)



(写真1-2)
地下水ドレンポンドBの状況
(今回撮影)
(北西方向から撮影)

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。